



環境の森センター・きづがわ建設に向けて

～ “環境の森センター・きづがわ”は、皆さんの日常生活に欠くことのできない施設です～

本市の可燃ごみは、本市と精華町で構成する相楽郡西部塵埃処理組合の打越台環境センター（精華町内）で焼却処理をしています。昭和55年に建てられたこの施設は、老朽化が相当に進んでおり、また処理容量不足のため一部を民間に処理を委託しているのが現状です。

これらの問題に対応するため、新たなごみ焼却施設として、“環境の森センター・きづがわ”（鹿背山地内）の平成30年9月末の稼働に向けて取り組みを進めています。

今月は、9月の施設建設工事の様子をお伝えします。

【ごみピット部分の基礎・耐圧盤工事に着手しました。】

ごみピット部分の掘削工事が8月末で完了しました。続いて9月からごみピットの基礎・耐圧盤部分の工事が始まりました。施工現場は地盤面から15m程低い位置にあるため、クローラークレーンという重機を使用して資材を積み降ろします。このクローラークレーンのタワー部分の全長は約80mあり、その姿を建設現場の外から見るができます。

作業としては、掘削したごみピット底面の高さを調整するための均しコンクリートを打設し、その上にごみピットの基礎・耐圧盤となる箇所に鉄筋・型枠を組立てました。そ

の後、ごみピットの中でも最も低い所となるごみ汚水槽部分からコンクリートの打設をおこないました。

また、ごみピット部分以外の建物の基礎工事も並行して取り組んでいます。

10月末頃には、ごみピットの壁部分を半分くらいの高さまで造ります。

コンクリートの打設日にはコンクリートミキサー車の通行により、道路沿道の皆さんにご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

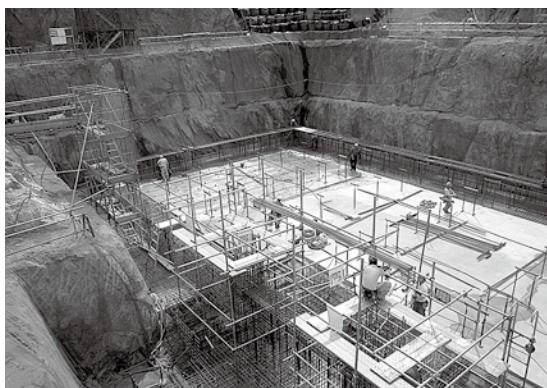
【クローラークレーン】



【ごみピット掘削完了状況】



【ごみピット配筋工事の様子】



【ごみピットコンクリート打設の様子】



“環境の森センター・きづがわ”の早期稼働に向けて、地元の皆さまをはじめ市民の皆さん、一人ひとりのご理解とご協力をよろしくお願いします。